

# 自己評価シート

バンブーキッズ保育園

## 1、園の教育目標

当学園では教育・保育理念として、『一人ひとりをみつめる保育の実現』『主体的に生きる力を育む保育の実現』『仲良しの心・思いやりの心を育てる』を掲げています。また教育目標として、本園でめざす幼児像は次の4項目になります。

- 1、丈夫な子ども
- 2、素直な子ども
- 3、進んで取り組む子ども
- 4、心豊かな子ども

## 2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した自己評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教職員が自ら客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
保育課程の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい編成している。	法人の理念、基本方針が適切に明文化されており、研修や配布資料等において職員、保護者等への周知を図っている。
教育要領、教育課程、保育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	一人ひとりの発達に合わせた援助や配慮が行えるよう、振り返りや修正等を行い、実施している。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	日々の保育の振り返りで情報を共有できるよう努めている。また、段階的に身につけていきたい生活習慣の目安を作成し、職員間で共有、振り返りや修正等を行いながら実施している。
月毎に各年限の成果と課題を報告する。	各年限で月毎にクラスとしての目標、個人に対する目標を設定し保育を行っている。振り返りや見直しを行い、次の月へと繋げ、課題の達成となるよう努めている。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	子どもの特性を理解し、肯定的に受容している。子どもたちが安心して、自信をもってこれからの人生を歩めるような関わりを大切にしている。
あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	自分で選ぶ、決める経験ができるような遊びの環境や、様々な素材遊びができるような環境を作り、遊びの展開からお友だちへの意識を高め、一緒に遊び合う経験から協力して遊ぶ姿へと繋げている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう。	各家庭との連携を密にとりながら身につけていきたい生活習慣（リズム）の獲得に向け、一人ひとりの発達状況に応じた食事、睡眠、

	排泄等へ対応している。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	社会の状況に応じた研修（虐待や不適切保育について等）や命を守る為の研修（誤飲対応や AED 使用法等）、保育の質向上に向けた指導研修等に参加する事で知識や技術の向上を図っている。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	研修参加者は学んだ事柄を理解し、まとめ、その他職員が周知できるように資料や情報提供ができるようにしている。
園だよりや合同研修会をとおして園の情報を発信していく。	定期的なホームページの更新、または SNS 等も活用し、最新情報を公開できるようにしている。
教育・保育目標や短期経営目標と連鎖した評価項目を作成し、目標・実行・評価・改善のサイクルを確立する。	PDCA サイクルについてそれぞれ努力をしているが『改善』への繋がりに難しさがある。振り返りを行いそれを周知する事で職員の意識統一を図る。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

理 由
<p>職員全体で再度園の規律の確認、整えを行う。そして、意識統一、業務等の情報共有・周知の為の打ち合わせ時間を設け、連携をとる事でチームワーク力を高めたい。予測・計画・実施・振り返り・評価・改善の実行を徹底し、子どもの実態に応じた、成長を促す保育の充実に繋げる。</p> <p>また、職員一人ひとりが園の運営や子どもに必要な事柄を真摯に考え、自主的な働きかけを積極的に行える職員から主体的な働きかけができる職員の育成へと繋げていく。</p> <p>ICT の取り入れは職員、保護者共に定着し、慣れてきた。今後も連絡ツールとしても活用していくと同時に業務の緩和を計り、ゆとりのある保育の実現を目指し、職員のモチベーション向上を図る。</p>

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	<p>令和7年度6月より、様々なシステムの一本化を図る為、コドモンを導入。 （緊急時等の園情報を提供、保護者からの欠席連絡機能、連絡帳機能、指導案作成等）</p> <p>令和4年度よりホームページを一新し、園だより等のダウンロードを導入。 個人情報の観点に配慮し、保護者へのスムーズな情報共有が定着した。 保護者が知りたい情報を発信する為、写真・動画配信サービスも活用している。 今後もシステムを工夫し、保護者にとって分かり易く、園に対する安心や信頼に繋がるような情報共有の実施と発信に臨んでいく。</p>
自己点検、自己評価	自身を客観的に捉え、見つめ直し、自己啓発を行う。また、職員面談を行う事で、保育の向上を図る。
指導計画の編成	一人ひとりの発達や実態に即した内容での作成は勿論、保育者としての願い、ねらいをしっかりと定めて編成を行う。